

## ◆ ◆ ◆ 小論文 ◆ ◆ ◆

**総合・国内共通問題**

少子高齢化、人口減少の日本にとって「観光」は内需や雇用機会の拡大、地域創生、地域経済の活性化のために重要な役割を果たす成長産業として大きく期待され、2020年には日本でオリンピックやパラリンピックの開催も予定されています。

この追風の中で、あなたはこの大プロジェクトにどのように関わっていかれますか。また、そのために日頃どのような努力をしたら良いと思いますか。箇条書きで800字程度で述べなさい。

**出題の背景**

- ① 訪日外国人旅行者数は急激な伸びを見せており、2016年には2000万人を突破した。
- ② 「インバウンド」は観光分野の重要なキーワードとなり、従来の観光産業の枠を超え、あらゆる分野の企業や団体に新たなビジネスチャンスとなりつつある。

**出題の趣旨**

- ① オリンピック、パラリンピックが開催される3年後の自分自身がどう在りたいか。
- ② 在りたい自分をイメージし、職業を通してどの様に貢献できるか、具体的な目標は何か。
- ③ 3年後の目標達成のためにどの様な努力をしたらよいか。

**解説**

3年後に日本で開催される国家プロジェクトであるオリンピック、パラリンピックを職業人として、また一社会人としてどう捉えているか、関心の有無及び努力目標を問う出題でした。

多くの人が書かれている回答は下記2点でした。

まず、長年添乗業務を通して得た知識、能力、スキルを訪日外国人の日本国内旅行で活かし、ボランティアで誘導員、会場整理、道案内等を引き受け貢献してゆきたいと述べていました。

次に、日本の伝統文化を正しく理解し、外国人に説明出来る様に語学のスキルアップをしたいと述べていました。

但し設問で「箇条書きで800字程度で述べなさい」と明記しているにも関わらず、箇条書きで述べている人は皆無でした。

中には通訳案内士の資格取得に向けて勉強中の方も居られ、心強い限りです。また、生まれ故郷の地域の活性化の必要性を述べて居られる方も見られましたが、具体的にどの様な活動をしようとしているのかには触れて居らず、残念に思います。海外で度々発生するテロが報道され、海外旅行意欲が減退する中、アウトバンドからインバウンド旅行を志向する添乗員も増えています。世界各国から大勢の方々が来日する機会に、今迄培ってきた知識やスキルを発揮し、活躍して欲しいと願っています。

今年度は総合一級の受験者は少なく、国内添乗を主業務としてこられた方々の飛躍の機会として頂けるよう期待しています。